

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 1 教育目標

### (1) 一般目標

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は外科系のなかで最も深い奥行きとやり甲斐を感じる領域である。患者の命と機能を守ることが使命である。主要な感覚（嗅覚、聴覚、平衡覚、味覚）、生存に不可欠な呼吸や嚥下機能、コミュニケーションに必要な音声、言語、表情表出機能などに深く関与するため診療にあたっては常に患者の全身・全人格を尊重した対応が求められる。また、臓器別、系統分類別でも多くの他臓器と強い有機的結合をもっている。腫瘍外科、感覚器外科、機能外科としての広がりを持ち、その基本的な知識はプライマリケアにおいても、また、隣接する臓器を専門とする場合にも有用なものとなる。クリニカルクラークシップにおいては耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の解剖、機能を学び、基本的検査手技を実践する場が提供される。受講者は臨床所見・検査所見を理解し、患者への説明・治療にフィードバックできる知識を習得できる。

### (2) 行動目標

---

#### 態度

##### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 身だしなみに注意し、実習時間等の時間を厳守できる。
2. 患者および診療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。

---

#### 知識

##### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 聴覚・平衡覚、音声・嚥下機能の検査法を説明できる。
2. 鼓膜・鼻腔・咽頭・喉頭所見を説明できる。
3. 頭頸部領域のCT及びMRI画像を読影できる。
4. 経験した患者の手術所見が説明できる。

##### 【クリニカル・クラークシップB】

5. 耳科・鼻科・口腔咽喉頭部疾患の治療方針を説明できる。
6. 症例検討会で、受け持ち患者のプレゼンテーションができる。

---

#### 技能

##### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 問診・診察を行い、病歴・所見をカルテに記載できる。
2. 耳鏡あるいは内視鏡で鼓膜・外耳道の観察ができる。
3. 顔面神経麻痺の部位診断・評価ができる。
4. 耳科・鼻科疾患手術例の助手ができる。
5. 皮膚縫合、縫合糸の結紮ができる。

##### 【クリニカル・クラークシップB】

6. 受け持ち患者の病状・所見をカルテに記載できる。
7. 内視鏡で、鼻咽腔や喉頭・下咽頭、嚥下機能の観察・診断ができる。
8. 頸部体表臓器の超音波検査ができる。
9. 眼振検査（注視眼振、頭位眼振検査）を施行し、所見を記載できる。
10. 頭頸部腫瘍手術の助手ができる。
11. 簡単な術後処置ができる。

## 2 実習要領

1. クリニカル・クラークシップAでは各種の器具を用い、学生相互の視診、触診を行う。
2. 医師又はトレーニングされた技師の行う専門的検査手技の見学・実習を行うことにより、生きたデータに取り組み、講義や教科書内容との対比を行う。
3. 病歴の取り方、記載の仕方、患者との対話の仕方の説明をうけ、実際の患者について診断実習を始める。
4. 経験した手術症例の病歴・手術所見などのプレゼンテーションを行う。
5. クリニカル・クラークシップBは、3グループある病棟グループのうちの1グループに属し、当日業務はそのグループの指導医の指示に従う。
6. 所見の記載、必要と考えられる検査、疑いある病名、診療などグループで検討、担当医教員によるチェック、質問・説明を受ける。
7. クリニカル・クラークシップBは、症例検討会において、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
8. 1週間ごとにグループを変更するが、耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習期間中受け持ち患者は中断せず担当する。

### (1) 準備

#### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

当科においては、頭頸部領域の悪性腫瘍、顔面神経麻痺、めまいなど精神的ケアが強く求められる疾患も多い。病棟実習においてはこのような患者の悩みを理解し、服装、態度、言葉使いなどに十分気をつける。

### (2) 集合場所および集合時間

#### 【クリニカル・クラークシップA】

初日は耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来の24番診察室に8:30に集合（バックヤードから入ってくる）。以降は、その日の指導医の指示に従う。

#### 【クリニカル・クラークシップB】

8:30にC棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局に集合。

### (3) 担当指導医

#### 【クリニカル・クラークシップA】

教員医師が交互に指導する。

#### 【クリニカル・クラークシップB】

病棟グループのチーフが責任医師長となり、グループ全体で指導する。

### (4) 実習補助表

#### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

実習前の週の金曜日に医局に取りにくること。実習終了時までには、所定の事項を記入する。

### (5) 実習出席表

#### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

実習終了時に、担当指導医のサインをもらう。

上記の実習補助表とともに耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局（C棟11階）へ提出する。

## 3 実習の評価方法

実習については、実習態度、時間内の質問に対する応答内容、実習資料への記載内容などについて総合評価する。

#### 4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名		
教 授	藤本 保志		
特任教授	内田 育恵		
特任准教授	車 哲成	丸尾 貴志	
助 教	岸本 真由子	有元 真理子	犬飼 大輔
	中村 宏舞	楊 鈞雅	菅 太一

#### 5 連絡先

場所（内線）	耳鼻咽喉科医局（22173）
E-mail	jibika@aichi-med-u.ac.jp

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

【初日の集合時間／場所】  
 8:30／45 外来 24 診察室  
 【祝日の場合】※火曜日  
 8:30／45 外来 24 診察室

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	診療器具の扱い方 局所所見のとり方・記載法 初診患者の診察見学 外来患者の診察法	岸本  藤本	45 外来 24 診察室	聴覚機能検査の実際 平衡機能検査の実際	車, 岸本	外来 聴力検査室
火	病棟回診		11 階A病棟 診察室	手術患者のオリエンテーション 術前の検査・手術法の検討	内田, 車, 犬飼, 中村 楊	
水	手術見学・介助	藤本, 車, 丸尾, 有元, 犬飼, 中村, 楊	手術室	手術レポート作成	藤本, 車, 丸尾, 有 元, 犬飼、 中村、楊、	手術室
木	(歯科口腔外科)			気道切開・頸部触診	岸本	C棟6階シ ミュレーショ ン センター
金	入院患者診察見学および介助, 受け持ち患者の診察	藤本	11A 病棟 診察室	画像診断・臨床所見 総括	有元, 菅	外来

## 7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

基本的には担当指導医の指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

【初日の集合時間／場所】

8:30／C棟 11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局

【祝日の場合】※火曜日

8:30／45 外来 24 診察室

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	手術または入院患者診察	内田,車, 丸尾,有元, 中村,楊	手術室または 11A 病棟	手術  16:45 医局会	藤本,車, 丸尾,有元, 中村,楊 教員全員	手術室  C棟 11階 耳鼻咽喉科 医局
火	病棟回診  外来	  丸尾,岸本, 犬飼,中村	11A 病棟  外来	病棟回診  外来	  内田,岸本 犬飼,中村	  11A 病棟  外来
水	手術	藤本,車, 丸尾,有元, 犬飼,中村, 楊	手術室	手術	藤本,車, 丸尾,有元, 犬飼,中村, 楊	手術室
木	病棟回診  外来  手術	犬飼  藤本,車, 楊 内田,菅	11A 病棟  外来  手術室	  外来  手術	  車,楊,有元 内田,丸尾, 犬飼,菅	  外来  手術室
金	外来	有元,菅		外来	藤本,有元, 菅	外来